

令和6年2月1日

東部農林水産振興センター出雲農業部

標 題

学生と農業士による出雲農業の未来を語る交流会を開催
～視察とクッキング、ワールドカフェ方式の意見交換で和やかに交流～

(ダイジェスト)

去る1月22日、出雲地域の農業への理解促進及び将来の担い手育成につなげることを目的に、当事務所、出雲地方農業士会、出雲市農業再生協議会及び斐川町地域農業再生協議会との共催で、標題の交流会を開催しました。

当日は、農業士6名、出雲農林高校生9名と農林大学校生14名が参加し、指導農業士と認定新規就農者の圃場を視察した他、クッキング交流とワールドカフェ方式による意見交換を行いました。



法人経営 指導農業士 葉物ハウス視察



認定新規就農者 ぶどうハウス視察



クッキング交流風景



ワールドカフェ 講師



ワールドカフェ風景(オーナー紹介)



農業士提供の野菜をふんだんに使った米粉ピザ

ワールドカフェ方式の意見交換では、5人の農業士がカフェのオーナーとなり、「働くこと」「農業を職業とすること」「農業で自立すること」「出雲の農業の未来」の4つのテーマ毎に、生徒・学生がカフェを入れ替わり、オーナーの話聞き意見を交わしました。生徒・学生らは、各農業士の経営観や工夫、農業への意気込み等を肌で感じ、農業を職業とするイメージを持っていただけだのではと思います。

当農業部としては、今後も農業士会及び関係機関と連携しながら、若い世代に職業としての農業に関心を持ってもらう機会を提供できるよう、様々な取組みを進めていきたいと考えます。

- ★この度の企画にあたっては、農林高校生と農大生の各々のニーズに合い、双方に有意義な内容となるよう、各教員の先生に相談し、検討しました。
- 【農大生のニーズ】
 - ・「就農」への意向が固まっている学生がほとんど
 - ・就農に役立つ具体的情報が欲しい
 - 【農林高校生のニーズ】
 - ・「就農」のイメージがない生徒がほとんど
 - ・企業的農業経営の話など視野を広げる機会がよい
 - 【農業士の意見】
 - ・一緒に何かを作って食べたり、作業をするのがよい
 - ・目先を変えた、とっつきやすい取組みがよい